

地域の危険度マップ (上総地区)



地域の危険度マップとは？

地域の危険度マップは、地震による揺れによって発生する建物被害の分布を、相対的に表したものです。

具体的には「揺れやすさマップ」で示した強さの揺れとなった場合に、建物に被害が生じる程度を「危険度」として表しています。

この「危険度」は50mメッシュ単位で分割した地域に建っている建物の中で、全壊する建物の割合により設定しています。危険度の数値が大きくなるほど地域の建物を受ける被害が大きくなります。

マップの利用方法

マップを見て、こんなことを考えてみてください。

- 自宅のまわり、学校や職場のまわりの危険度はどのくらいなのか？
- 自分の家、学校や職場の耐震性は十分か？
- 大きな家具や家電製品の位置や就寝場所などにより家の中で危険な所はないか？

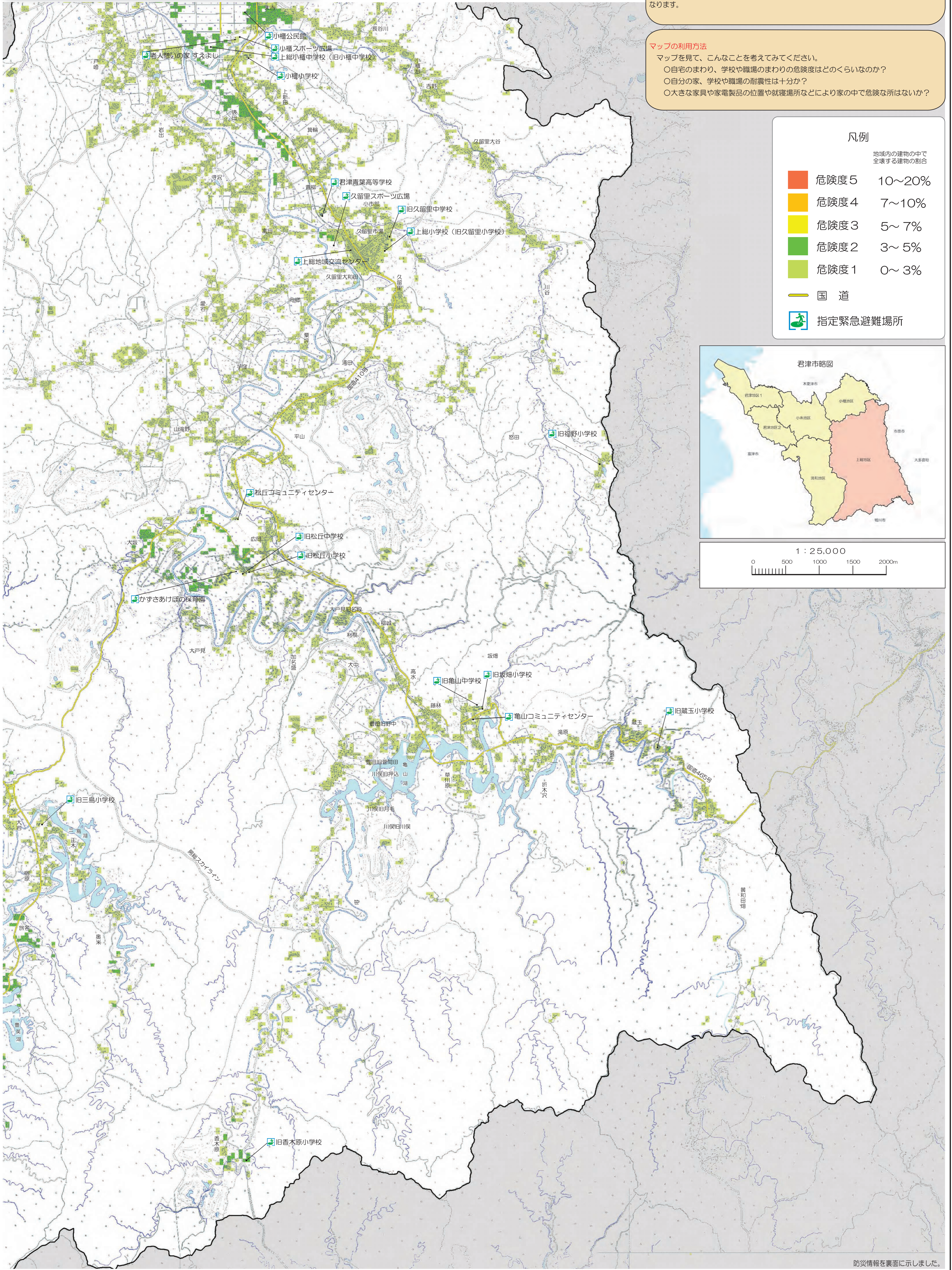
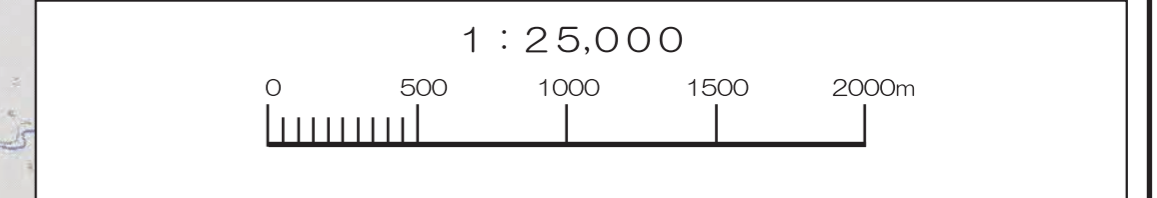
凡例

地域内の建物の中で全壊する建物の割合

■	危険度 5	10～20%
■	危険度 4	7～10%
■	危険度 3	5～7%
■	危険度 2	3～5%
■	危険度 1	0～3%

— 国道

指定緊急避難場所



防災情報を裏面に示しました。